

ネイティブウサギアルドラーゼ

Cat. No. NATE-0048

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 フルクトース-ビスリン酸アルドラーゼ (EC 4.1.2.13)、一般にアルドラーゼと呼ばれるの

は、可逆反 \square を触媒する酵素で、アルドールであるフルクトース 1,6-ビスリン酸をトリオースリン酸であるジヒドロキシアセトンリン酸 (DHAP) とグリセルアルデヒド 3-リン酸 (G3P) に分解します。アルドラーゼは、フルクトース 1-リン酸やセドヘプトロース 1,7-ビスリン酸などの他の (3S,4R)-ケトース 1-リン酸からも DHAP を生成することができます。グルコネオゲネシスとカルビン回路は、同化 \square 路であり、逆反 \square を使用します。解糖系は、異化 \square 路であり、前方反 \square を使用します。アルドラーゼは、メカニズムによって二つのクラスに分けられます。

用途 アルドラーゼは、フルクトース**1,6**-ビスリン酸をジヒドロキシアセトンリン酸およびグリセル

アルデヒド3-リン酸に□換するために使用されます。ウサギの筋肉由来のアルドラーゼは、 DHAP C3での立体特異的脱プロトン化に使用されました。この製品は基本的に硫酸塩フリー

で、クエン酸バッファ一塩を含んでいます。

別名 アルドラーゼ; フルクトース-1,6-ビスリン酸トリオースリン酸リラーゼ; フルクトースビスリ

ン酸アルドラーゼ; フルクトース二リン酸アルドラーゼ; D-フルクトース-1,6-ビスリン酸D-グ

リセルアルデヒド-3-リン酸リラーゼ; EC 4.1.2.13; 9024-52-6

製品情報

種 ウサギ

由来 ウサギの筋肉

形態 凍結乾燥粉末。基本的に硫酸塩フリーで、クエン酸バッファー塩を含んでいます。

EC番号 EC 4.1.2.13

*CAS*登□番号 9024-52-6

活性 タイプI、凍結乾燥粉末、> 8.0単位/mgタンパク質; タイプII、硫酸アンモニウム懸濁液、

10-20単位/mgタンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 7.4、25°Cで1分あたり1.0 μ moleのフルクトース1,6-ビスリン酸をジヒド

ロキシアセトンリン酸とグリセルアルデヒド3-リン酸に∏換します。

保管・発送情報

保存方法 -20℃